

市内初のオープンノベーション拠点「ARKade（アーケード）」を開設

ものづくり企業を中心とした**市内事業者の新規事業創出や、創業者・スタートアップの事業立ち上げ・成長**等をサポートする施設「**オープンノベーション拠点 ARKade**（アーケード）」を令和8年4月に開設します。

～ポイント～

- 1 施設は「オープンノベーションコア尼崎運営協議会」（OIC）が運営。各支援機関の強みを活かし、ワンストップで事業者を支援。
- 2 ものづくりをはじめとする企業の経営者や後継者、社員のほか、起業家、クリエイター、大学、金融機関、行政機関等が出会い、共創する機会を提供。
- 3 共に拠点を盛り上げる仲間「あまぬし」を募集。



「オープンノベーション拠点ARKade」の内観イメージ



同入口外観イメージ

伝統をつなぎ、未来へ歩みを進める尼崎のものづくり

尼崎市は、明治時代、紡績工場の開業で工業都市としての第一歩を踏み出して以降、国内トップシェア企業を多数輩出するなど、ものづくりのまちとして発展してきました。

ARKade開設を契機に、ものづくりのまちとして築いてきた伝統を大切にしながら、新しい技術や発想を取り入れ、次のステージへと歩みを進めます。



写真:大正5年（1916）頃の尼崎紡績
（「御大典記念献上 尼崎市写真帖」より）



尼崎の優れたものづくり技術は今なお輝く
今年度、クリエイターとの共創による商品開発プログラムがスタート
（「尼崎ものづくりチャレンジ（OIC）」より）

施設名称 ARKade

Amagasaki
(地域)
Relationship
(人と人のつながり)
Knot
(新たな結び目)

— **ARKade**

地域のつながりの中に新たな出会いや
情報、アイデア、技術を呼び込む架け橋に

ARKadeコンセプト

ARKadeが目指す姿

1

「ものづくりするなら尼崎」の発信拠点として、人・情報・アイデア・テクノロジーが集積する場になる

2

尼崎の事業者や働く人、地域住民、支援者等にとって新しい気づき・縁・絆が生まれる場になる

3

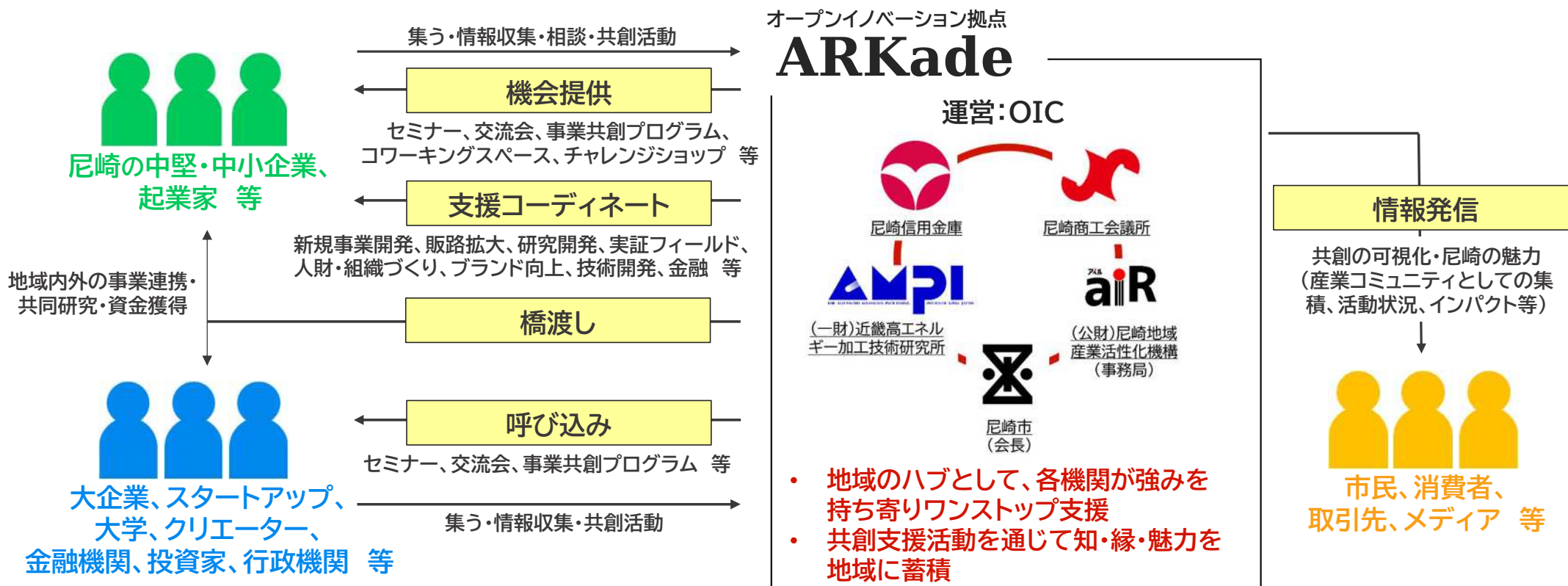
市内企業同士の事業面のつながりを促進し、潜在的な強みやノウハウを引き出す場になる

4

地域の事業者が抱える様々な課題に対し、市内支援機関が一体となってワンストップで対応する産業支援のハブになる

ARKadeの支援機能

ARKadeには、**OIC各支援機関の職員が常駐**し、1社1人に寄り添った新規事業開発や販路開拓、共同研究開発等の各種支援制度の活用サポートや、創業、技術相談対応等を**ワンストップ**で行います。



施設概要

場所

兵庫県尼崎市神田中通 2 丁目27番地 1Fおよび2F
(中央商店街中央一番街内)

開所時間

調整中

施設利用

挑戦したい・誰かと共に新たな価値を生み出したい気持ちが
あればどなたでも無料で入館可能です。

(要会員登録)

※コワーキングスペース等の占有的利用は有料



コワーキングスペース



ミーティングルーム



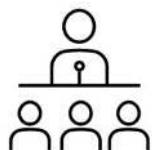
イベントスペース (奥)・チャレンジショップ (手前) 6/ 8

共に拠点を盛り上げる仲間「あまぬし」を募集

「やってみたいことがある」「チャレンジを応援し合える仲間に出会いたい」そんな気持ちを持ち、主体的に行動する人々の集まりが、まちの魅力を高めます。

ARKadeでは、**先頭に立ってまちの産業を盛り上げる主体であり、他者の挑戦を応援する主体でもある**、そのような会員を「**あまぬし**」と名付け、あまぬし同士の交流機会を提供するとともに、活動やストーリーをポータルサイトで紹介します。

あまぬしの活動例



先陣を切って挑戦し、他の会員に経験を伝える



人脈や場所・設備をシェアする



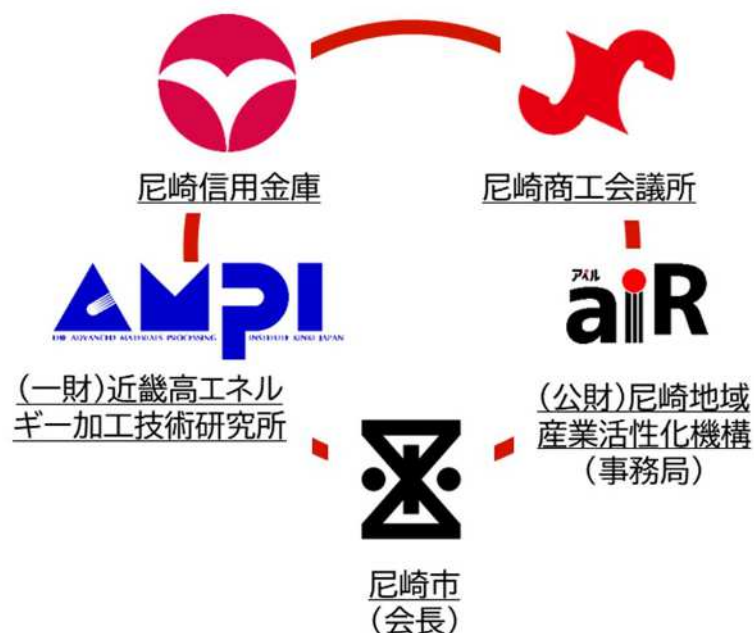
イベントや勉強会の自主企画や裏方支援を行う

【参考】オール尼崎の支援体制（OIC）

産業のまち尼崎の更なる発展を目指し、「**ものづくりするなら尼崎**」のビジョンの下、オープンイノベーションコア尼崎運営協議会（OIC（オーアイシー））を2024年4月に立ち上げました。

立ち上げから約1年半、1社1者への丁寧な支援コーディネートが強みに、市内企業同士や大学との協業促進や、起業家の発掘・成長サポートを行っています。

OIC構成機関



【主な活動実績】R7.11月末時点

企業訪問：**280回** のべ**130社**
BM・支援施策コーディネート：**75件**
新規事業創出：**5件**
連携協定：**1社、1大学**
メディア掲載：**4件**